

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	おだわら諏訪の原公園		
所在地	小田原市久野・府川・飯田岡		
サイトURL	https://www.kanagawaparks.com/suwanohara/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成18年3月)		
指定管理者名	おだわら諏訪の原公園パートナーズ		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (県西土木事務所 小田原土木センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
利用状況については、引き続き仮設ドッグランの開催を行い周知されてきたこともあって、来園者数は前年度よりも増えたが、目標値の83.3%に留まり、C評価となった。今後は、園内に開花時期の異なる桜を植樹し、長期間桜が楽しめる公園という位置づけで利用者を招致するなどの対応を検討している。 利用者満足度については、日々のきめ細やかな維持管理を行い、快適な利用空間を提供したことから、S評価となっている。 収支状況については、自動販売機収入は計画値に達しなかったものの、予定されていた監視カメラの修繕が翌期にずれ込んだこと、経費節減に努めたことなどにより収支比率101.53%となったため、A評価となった。今後は、自動販売機収入を上げるためにも、さらなる利用者数増加に取り組んでほしい。 3項目評価はBとした。新型コロナウイルス感染症の影響も薄れ、利用者数は増加しているものの、目標達成率83.3%に留まった。今後は他施設との連携や継続的なPR活動をさらに強化し、人気の高いドッグランイベントの開催数を増やす等により、利用者の獲得に取り組んでほしい。
<各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 計画に基づいて植物管理や施設管理、施設清掃を行った。また情報発信やPR活動、イベント開催等による利用促進及び地域や関係団体等との協働に注力した。 ◆利用状況 パンフレット・イベントチラシ等による情報発信、魅力的なイベント開催等に積極的に取り組んでいたが、利用者数は目標達成率83.3%となり、C評価となった。 ◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が96.5%となり、昨年度の94.3%より高い評価が得られ、S評価となった。 ◆収支状況 自動販売機収入等は昨年度より増加しているものの、総収入は前年度とほぼ同等、計画値に対し、未達となっている。しかしながら予定されていた修繕費が今季発生しなかったこと、経費節減に努めたことなどにより収支比率は101.54%となりA評価となった。 ◆苦情・要望等 苦情、要望について適切に対応しており良好な運営管理状況にある。 ◆事故・不祥事等 乗用草刈機による転倒事故があり、作業者が骨折のケガを負ったため、事故調査会を設置し、公園管理者である県から指導書を提出のうえ、再発防止策を講じさせた。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。 ◆その他 令和6年度の3項目評価についてはB評価とした。近隣施設などとの連携を進めるとともに、積極的な情報発信、魅力的なイベント開催等更なる利用者の獲得と高い利用者満足度の維持に取り組んでほしい。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。 S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
B	C	S	A	

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	月2回程度	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務が履行されていることを確認した。
意見交換等の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	管理・運営に関する情報交換を行った。
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
	有・無	乗用芝刈機で法面を除草中、機具とともに作業者が法面を転落した事故について、事故防止取組内容の徹底と改善策の提出を指導した。

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
四季の花のみどころづくり	園内各所に、ナノハナ、コスモス、皇帝ダリア、スイセン、クロッカスなどの植栽を継続し大規模花畑を創出し、花の見どころを作成した。	四季折々の花が楽しめる場所として、公園の目玉になるよう努めてほしい。
豊かな自然に触れ合う「環境学習イベント・プログラム」の実施	生物多様性を意識した維持管理のもと、環境学習イベントを実施した。(年10回 299人)	今後も安全・快適なレクリエーション空間等を提供し、公園内の豊かな自然資源を保全・活用できるように努めてほしい。
誰もが安全・安心に利用できる公園づくり	全社安全確認訓練、小田原フラワーガーデンと合同の避難訓練、小田原消防署によるAED研修を実施した。	引き続き、周辺の企業等と連携し、多様な広報活動を実施することで、安全を保ちながら多くの人が集まる公園になるように努めてほしい。
衛生面での安全確保	感染症予防のため、消毒を実施し、併せて手洗い励行の掲示物など注意喚起・啓発を行った。	清掃管理は利用者から評判が良い。今後も感染症対策を中心に、利用者に快適性を感じてもらえる公園の維持に努めてほしい。
ボランティア団体等の育成・連携、協働の取り組み内容	みかんの会の説明会と体験会を行い、協働で来園者の収穫体験を開催した。(年8回 計717人) 城下町スポーツクラブとの協働による未病改善イベントを開催した。(年6回 244人) 地元自治会を招いた協議会は感染症対策で中止した。	今年度中止とした地元自治会を招いた協議会を行うなど、さらに公園と地域の協働の機会の提供に努めてほしい。

〔 参考：自主事業 〕

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキュー場の運営	利用促進および利用者サービス向上のため、バーベキュー場の営業を行った。気温が低いため、冬季（12月～2月）の利用はなかった。
キッチンカーの運営	利用促進および利用者サービス向上のため、土日祝日、イベント開催時等にキッチンカーの営業を行った。なお営業の際は、感染症対策を守って、利用していただくよう促した。
ドッグランの運営	年2回（各9日）利用促進および利用者サービス向上のため、仮設ドッグランイベントを行った。なお、利用の際は、おだわら諏訪の原公園仮設ドッグラン利用規約を守っていただくよう促した。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	136,560	123,315	152,417
対前年度比		90.3%	123.6%
目標値	165,000	174,000	183,000
目標達成率	82.8%	70.9%	83.3%

目標値の設定根拠： 事業計画書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 目視による計測と団体利用者数からの推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

＜備考＞
パンフレット・イベントチラシ等による情報発信、魅力的なイベント開催等に積極的に取り組んでいたが、利用者数は目標達成率83.3%となり、C評価となった。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を見るときいかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 342 / 347 = 98.6%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	275	55	11	1	0	342	クラフトコーナーが充実していて良かった。
回答率	80.4%	16.1%	3.2%	0.3%	0.0%		
前年度の回答数	217	48	15	1	0	281	
前年度回答率	77.2%	17.1%	5.3%	0.4%	0.0%		
回答率の 対前年度比	104.1%	94.1%	60.3%	82.2%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

上半期の満足度調査回答数：N=155（大変満足125、満足25、普通5）満足以上96.8%

下半期の満足度調査回答数：N=187（大変満足150、満足30、普通6）満足以上96.3%

上半期下半期とも、パークセンターを中心に指定管理者が来園者からのアンケート回収に努めた。

満足度については前年度より高い評価を得られた。

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	59,300	0	2,508	自販機：2,508	61,808	61,808	0	
	決算	59,300	0	2,563	自販機：2,563	61,863	62,762	-899	98.57%
前年度	当初予算	59,300	0	6,714	自販機：6,714	66,014	66,014	0	
	決算	59,520	0	2,881	自販機：2,881	62,401	63,707	-1,306	97.95%
令和6年度	当初予算	59,418	0	4,531	自販機：4,531	63,949	63,949	0	
	決算	59,418	0	2,974	自販機：2,974	62,392	61,449	943	101.53%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和5年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

自動販売機収入等は昨年度より増加しているものの、総収入は前年度とほぼ同等、計画値に対し、未達となっている。しかしながら予定されていた修繕費が今季発生しなかったこと、経費節減に努めたことなどにより収支比率は101.53%となりA評価となった。

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	園内	3 件	・「園内にバスケットコートを設置してほしい」という意見をいただいた。 ・「園内の立ち枯れ木が危険なので早急に伐採してほしい」という苦情をいただいた。 ・「散歩している犬のフンやおしっこ始末がよくないので、看板や放送で指導してほしい」という意見をいただいた。	・要望の内容を県に通知し、設置の可能性を検討する。 ・対象の木を確認し、伐採を行った。 ・犬のフンやおしっこに関する掲示物を増設するとともに、放送内容を検討して犬のフンやおしっこへの注意喚起を行った。
		件		
		件		
職員対応	園内	1 件	「園内での自転車の走行は危険なのでやめさせてほしい」との苦情の電話をいただいた。	苦情の電話後すぐに園内を巡回したところ、当該自転車は確認できなかった。
		件		
事業内容		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☐ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R6. 8. 12	①乗用芝刈機で法面を除草中、機具とともに作業者が法面を転落。 ②事故報告を受け後日現地を確認。 8. 22に事故調査会、9. 11に事務所部会を実施し、9. 19に都市公園課長に最終報告。 9. 24に指導書により、事業計画書記載の事故防止の取組内容を遵守するよう関係者全員に指導するとともに、改善策の提出を指導。 ③作業員が腕を骨折するケガにより入院。8. 20退院、その後自宅療養。 事業計画の読み合わせを行い、作業方法の見直し及び再発防止策を共有。 ④無 ⑤事前KYの徹底不足、搭乗者の経験不足、作業監督者の不在、安全区域の表示不足が原因として考えられる。 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。